

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	セントラルパック株式会社					
代表者名	氏名	藤田 功		役職名	代表取締役社長	
主たる事務所の所在地	長野県松本市大字笛賀5652-52					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	レトルト食品製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kJ	1,709	1,453	1,565		
エチギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,421		3,130		
調整後排出量	t-CO ₂	3,421	2,908	3,130		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	3		3		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	1				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧場所：セントラルパック株式会社 担当部署：工務部 時 間：9:00～16:00 連 絡 先：0263-25-9303
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

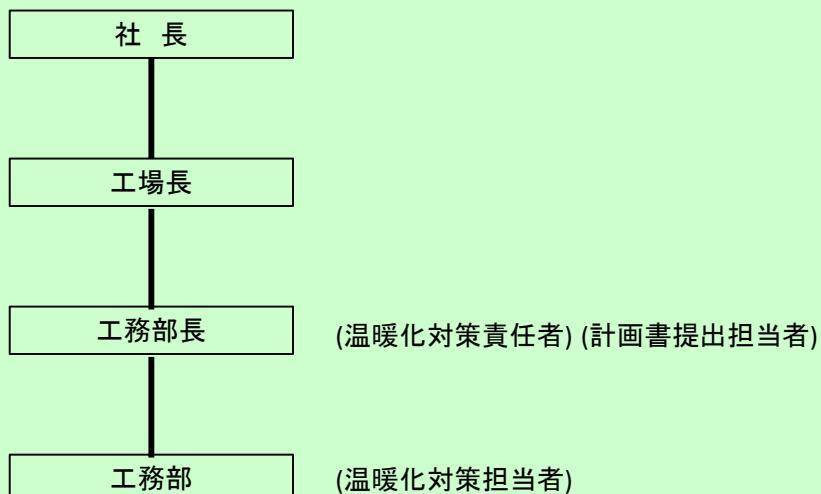
4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

- ①工場の生産性10%向上（2021年対比）
 - ・工場エアロース削減(配管見直し適正化、圧縮エアからブロワーに)
- ②高効率設備、省エネ設備への更新
 - ・既設ボイラーの超高効率化(エコノマイザー追加)、省エネ型空調の導入
- ③再生エネルギー設備の導入
 - ・太陽光発電設備設置

2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等

目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	2021年度比25%	
削減計画の概要					2030年までにCO ₂ 排出量25%以上削減する（2021年度対比） ①工場の生産性10%向上（2021年対比） ・工場エアロース削減(配管見直し適正化、圧縮エアからブロワーに) ②高効率設備、省エネ設備への更新 ・既設ボイラーの超高効率化(エコノマイザー追加)、省エネ型空調の導入 ③再生エネルギー設備の導入 ・太陽光発電設備設置		
イニシアチブ参画状況	<input type="checkbox"/>	SBT	<input type="checkbox"/>	RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他	

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

実績検討会（1回/月）

様式1号

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

様式1号

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基 準 排 出 量	1 t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目 標 排 出 量	t-CO ₂	目 標 原 单 位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目 標 削 減 率	%	目 標 削 減 率		%	
目標設定に関する説明						
第一年度	排 出 量	t-CO ₂		原 单 位	t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		原单位		t-CO ₂ /	
削 減 率	%	原单位削減率		%		
排出量等の増減理由						
第二年度	排 出 量	t-CO ₂		原 单 位	t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		原单位		t-CO ₂ /	
削 減 率	%	原单位削減率		%		
排出量等の増減理由						
第三年度	排 出 量	t-CO ₂		原 单 位	t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		原单位		t-CO ₂ /	
削 減 率	%	原单位削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I ~ II	I -1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I -2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式 1 号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量(t-CO ₂)	実施年度	推計削減量(t-CO ₂)
1	エネ起	コンプレッサ	インバーター機への更新(22kW)	2023～2024	26.7		
2	エネ起	コンプレッサ	エアープローを圧縮エアーからプロワーに変更	2023～2024	2.2		
3	エネ起	発電設備	太陽光発電設備の導入(検討中)	2023～2025	81		
4	エネ起	ボイラ	既設ボイラー2台を超高効率型に改造(エコノマイザー追加)	2023～2025	57		
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	158			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	0	191	0		
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式1号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネル ギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,421	1	3,130				
1,500k1未満								
合計	1	3,421	1	3,130				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼ ル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	3	3		
合計	3	3	0	0
自動車総数	3	3		
次世代自動車導入 割合	100	100		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張、移動時は公共交通機関を利用するようしている
自転車の利用促進	会社からの近距離の移動は社用車を利用せず、徒歩、自転車を利用する
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	特になし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	特になし
物流の合理化	特になし

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細	
	実施内容	実施年度
□ SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
□ TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
□ 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している	
	名称	
□ グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
□ ZEB	の認証を取得している	
□ ディマンド・リスポンス(DR)	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	
□ その他		

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

現在の取り組み事項
省エネ対策
①井戸水を利用したラジエーター方式の給気扇の導入実施 外気温▲10°Cが実現し、空調利用を削減した。 ②レトルト殺菌機の排熱利用による暖房費削減を実施した。 ③電力デマンド管理による空調抑制（管理デマンドを超過しないよう空調自動停止プログラム製作 ④超高効率ボイラへの更新実施 2024年度には既設機2台を超高効率化へ改造予定 ⑤太陽光発電設備の導入 設備容量158kwの設備導入を計画、2024年度設置予定
廃棄物削減 生ごみ処理機3台の活用、飼料化の推進により 産業廃棄物（生ごみ）ゼロ達成 食品リサイクル率 100%達成